

奈良工業高等専門学校日本学生支援機構給付奨学生の推薦基準

独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という。）の募集する給付奨学生採用候補者については、機構の定めるもののほか、本推薦基準に基づき、機構から示される人数の範囲内で基準該当者を選考し、機構に推薦するものとする。

（１）全体について

奨学生の選考は、書類選考及び面接所見により学業、人物及び家計の状況等を総合して行う。各項目については、それぞれ機構の定める基準の範囲内でなければならない。

（２）学業について

奨学生の学業を評価するには、前年度末の学業成績の平均点を100で除した値を学業評点とする。

（３）家計について

奨学生の家計の状況の評価するには、本人の属する世帯の家族数及び総所得金額により認定所得金額（第1種奨学金基準）を算出し、その認定所得金額を収入基準額で除した値を家計評点とする。

（４）選考について

学業評点から家計評点を差し引いた値を総合評点とし、人物、面接所見その他事情を総合して推薦順位を決定する（この際、総合評点は正に大きい値を上位とする）。ただし、家計評点が1以下のもの及び次の各号における基準を満たしているもののみ推薦する。また、推薦人数に上限があり、総合評点が同一の場合には、4.3に示す方法により推薦者を決定する。

4.1 給付型（社会的養護が必要なものを除く）

本校における前年度末の学業成績により算出されるクラス内順位が3分の2以上であること

4.2 給付型（社会的養護が必要なもの）

本校の「奨学金継続願適格認定基準」における「継続」または「警告」の基準を満たすもの

4. 3 推薦人数に上限があり、総合評点が同一の場合における順位付けの方法

イについてまず判断し、その後、ロ以下の順に推薦順位を決めるものとする。

- イ 「教育資金の一括贈与に係る贈与税非課税措置」に基づく直系尊属からの教育資金一括贈与を受贈していないもの（給付型のみ）
- ロ 次式に示す成績評価係数の高いもの
- ハ 成績評価係数が同じ場合、順位（クラス内）が上のもの
- ニ 順位が同じ場合、前年度末成績の平均点が大きいもの
- ホ 平均点が同じ場合、前年度の各学科共通の科目（担当者も同じ）における成績の和が大きいもの

成績評価係数を算出するための式

$$\frac{(\text{優評価の科目の総単位数} \times 3 + \text{良評価の科目の総単位数} \times 2 + \text{可評価の総単位数} \times 1)}{\text{卒業要件に関わる総履修単位数}}$$

以上